

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成30年6月15日

施設名	武道館	所管課	文化生活スポーツ部 スポーツ課
-----	-----	-----	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内1丁目8番3号		
事業内容	1 施設の利用の許可等に関する業務 2 施設の利用料金の収受・減免・還付に関する業務 3 施設設備の維持管理に関する業務 4 スポーツの振興に関する業務 5 その他施設の設置目的達成に必要と知事が認める業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 1 面積・・・本館：敷地面積2,818㎡、建築面積3,055.33㎡ 分館：敷地面積1,089㎡、建築面積498㎡ 2 施設、収容人員等・・・ 本館：試合場(3階、4階496席)、柔道場(1階)、剣道場(1階)、 研修室(1階)、会議室(1階) 分館：近的場(10人立)、遠的場(3人立) 3 利用時間・・・ 8:30～21:00(本館試合場、柔道場、剣道場、研修室、会議室、分館) 4 休館日・・・ 12月29日～1月3日		
職員体制	職員：1人、専門職員：4人 合計：5人(平成30年4月1日現在)		

2 収支の状況

単位：千円

		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
収入	県支出金	19,876	19,814	20,242
	使用料・手数料	7,577	8,383	8,145
	その他	547	926	1,426
	収入計 (a)	28,000	29,123	29,813
支出	事業費			
	管理運営費	15,374	16,520	17,683
	人件費	12,239	13,102	12,330
	その他	0	0	0
	支出計(b)	27,613	29,622	30,013
収支差額 (a)－(b)		387	△ 499	△200※

※県民体育館、武道館、弓道場の3施設を合わせて1つの指定管理契約を締結しているもので、3施設を合算すると収支差額は0となるもの。

3 利用状況

	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	76,686	79,959	80,000
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 「ご意見箱」の設置(意見数:2件)や、アンケート調査の実施により、利用者の意見や要望の把握に努めた。		
	○利用者意見等を踏まえた対策 大会時は駐車場が満車になるため、定期利用団体の講師分は確保できるようにするなどサービス向上に努めた。		
	○その他 6月の梅雨時には、本館の階段が大変滑りやすくなるため、利用者への注意喚起、モップでの拭き取り等を行うなど、安全管理に努めた。		
③その他特記事項	弘徳館(弓道場)耐震工事のため8月14日まで休館		

4 平成28年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	○法令・事業計画書・協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営を行った。 ○敷地内の樹木の剪定及び分館(弓道場)の芝生管理は財団の職員が行い、落葉の清掃は職員及び清掃業者で行うなど、経費削減に努めた。
②利用者サービスの維持向上	○ホームページや広報誌により情報発信を行い、利用者の確保に努めた。 ○耐震改修に併せて、トイレや控室等の修繕を提案し、利用者の利便性を高める努力をした。この提案のうち、トイレの一部洋式化が図られ、より幅広い年齢層の利用者に対応できるようになった。
③利用実績	○弘徳館(弓道場)耐震工事のため、8月14日まで休館していたが、平成28年度と比較すると利用者数、件数ともに増加した。 ※平成28年度利用者実績:76,686人 平成29年度利用者実績:79,959人(3,273人増) ※平成28年度利用件数実績:5,421件 平成29年度利用件数実績:8,032件(2,611件増)
④収支の状況	○収入について ・平成29年度収入(管理代行料を除く)は、平成28年度と比較して、1,185千円増加した。 ○支出経費について ・平成29年度支出は、平成28年度と比較して2,009千円増加した。
総合評価	A ・上記項目①～④のとおり、仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。 ・耐震工事のため、分館の弘徳館が四ヶ月半休館していたものの、前年度よりも利用者数及び利用件数が増加している。 ・利用者の声への迅速な対応や施設のユニバーサル性を高める提案や経費節減に努めるなどの取り組みは評価できる。 以上を踏まえて、総合評価をAとした。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの